

学びや

タイムスリップ

1869(明治2)年に創設された64の番組小学校には、学校としての機能だけでなく、町組合所、さらに徴税、戸籍、

番組小と同様の青写真

消防、警察、府兵駐屯所などが設置されました。これらの機能は、町衆の意見を府が具体化するこゝとて実現し、学校の設立が始まる直前の同年2月22日付の「府より太政官宛、中学校小学校建管趣に設置された小学校、当時の呼び方でいうところの「郡中小学校」においても、府が番組小と同様の青写真を描いていたとす。

71年11月に出された「府下各郡小学校建管心得告示」を通読すると、府は句読・算術・習字を同一の教員が受け持つて、農村部ならではの事情を考慮しつつ、郡中小学校も地域のコミュニティ・センタとして位置づけようともえましました。72、73年には、設立の動きは番組小がそうであったように速く、72年2月5日には最初の郡中小学校である醍醐村小(宇治郡第一小)が醍醐寺内に開校しています。開校式は三宝院内、独立していきます。特に戦後は、新しく開発が進むにつれて、元郡中小学校から新しい学校が誕生していきました(グラフ参照)。小学校の歴史の変遷をたどることで、その地域の歴史を知ることが出来ます。



いうことです。

では、番組小の特徴は、郡中小学校にとれほど適当な開校式は三宝院内用されたのでしょうか。

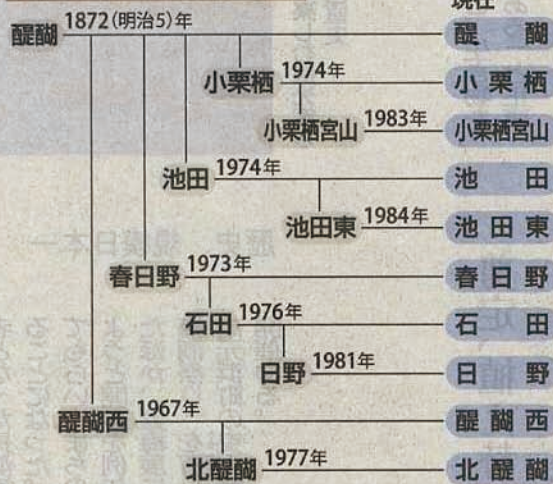
その後、地域が発展するのに伴い、元郡中小学校から多くの分校が誕生、独立していきます。

醍醐村小(宇治郡第一小)が醍醐寺内に開校して

醍醐村役場を併置する醍醐小学校(1902年頃)



醍醐地域の小学校の変遷



京都市立小学校変遷図は、学校歴史博物館(下京区)の常設展示室で見られます。

京都市立小学校変遷図は、学校歴史博物館(下京区)の常設展示室で見られます。

京都市立小学校変遷図は、学校歴史博物館(下京区)の常設展示室で見られます。